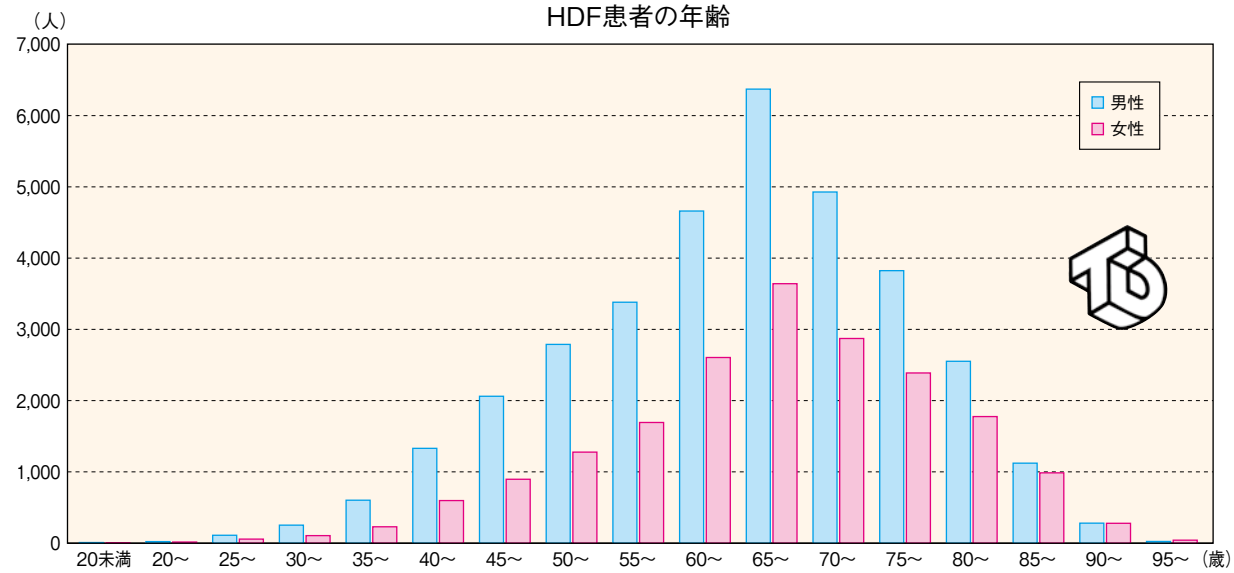
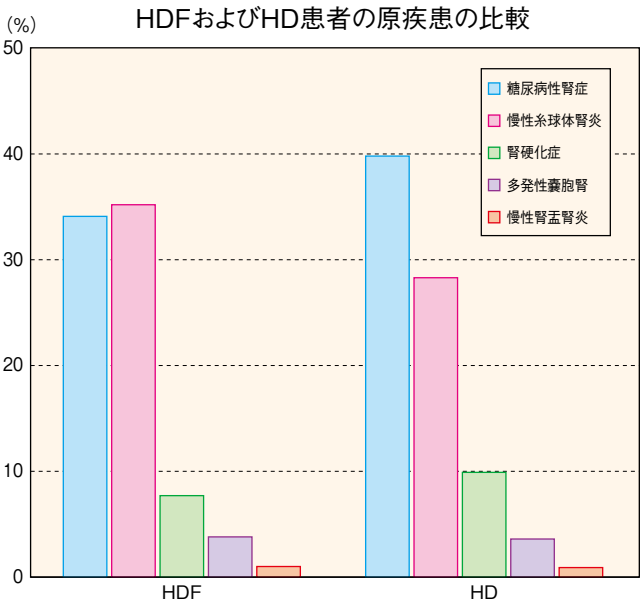
（2）HDF患者の年齢、原疾患（図表33）



	10歳未満	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
男性（%）	0 (0.0)	1 (0.0)	7 (0.0)	21 (0.1)	110 (0.3)	252 (0.7)	602 (1.8)	1,330 (3.9)	2,061 (6.0)	2,789 (8.1)	3,381 (9.9)	4,661 (13.6)	6,372 (18.6)	4,928 (14.4)	3,824 (11.1)	2,552 (7.4)	1,122 (3.3)	280 (0.8)	23 (0.1)	34,316 (100.0)	0	34,316	64.81	12.47
女性（%）	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (0.0)	15 (0.1)	56 (0.3)	105 (0.5)	229 (1.2)	597 (3.1)	896 (4.6)	1,277 (6.6)	1,693 (8.7)	2,605 (13.4)	3,641 (18.7)	2,872 (14.8)	2,388 (12.3)	1,776 (9.1)	986 (5.1)	278 (1.4)	41 (0.2)	19,460 (100.0)	0	19,460	66.86	12.41
合計（%）	0 (0.0)	1 (0.0)	12 (0.0)	36 (0.1)	166 (0.3)	357 (0.7)	831 (1.5)	1,927 (3.6)	2,957 (5.5)	4,066 (7.6)	5,074 (9.4)	7,266 (13.5)	10,013 (18.6)	7,800 (14.5)	6,212 (11.6)	4,328 (8.0)	2,108 (3.9)	558 (1.0)	64 (0.1)	53,776 (100.0)	0	53,776	65.55	12.48
記載なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計（%）	0 (0.0)	1 (0.0)	12 (0.0)	36 (0.1)	166 (0.3)	357 (0.7)	831 (1.5)	1,927 (3.6)	2,957 (5.5)	4,066 (7.6)	5,074 (9.4)	7,266 (13.5)	10,013 (18.6)	7,800 (14.5)	6,212 (11.6)	4,328 (8.0)	2,108 (3.9)	558 (1.0)	64 (0.1)	53,776 (100.0)	0	53,776	65.55	12.48



原疾患	血液透析濾過（%）	施設血液透析（%）
慢性糸球体腎炎	18,937（35.2）	70,315（28.3）
慢性腎盂腎炎	533（1.0）	2,272（0.9）
急速進行性糸球体腎炎	382（0.7）	2,025（0.8）
妊娠腎/妊娠中毒症	427（0.8）	1,052（0.4）
その他の分類不能の腎炎	278（0.5）	1,031（0.4）
多発性嚢胞腎	2,055（3.8）	8,869（3.6）
腎硬化症	4,159（7.7）	24,511（9.9）
悪性高血圧	432（0.8）	2,070（0.8）
糖尿病性腎症	18,332（34.1）	98,975（39.8）
ＳＬＥ腎炎	457（0.8）	1,702（0.7）
アミロイド腎	87（0.2）	358（0.1）
痛風腎	181（0.3）	853（0.3）
先天性代謝異常による腎不全	54（0.1）	201（0.1）
腎・尿路結核	33（0.1）	153（0.1）
腎・尿路結石	86（0.2）	471（0.2）
腎・尿路腫瘍	133（0.2）	763（0.3）
閉塞性尿路障害	114（0.2）	589（0.2）
骨髄腫	36（0.1）	247（0.1）
腎形成不全	143（0.3）	439（0.2）
不明	5,108（9.5）	23,795（9.6）
再導入	526（1.0）	1,559（0.6）
その他	1,275（2.4）	6,462（2.6）
合計	53,768（100.0）	248,712（100.0）
記載なし	8	13
総計	53,776	248,725

集計対象：血液透析濾過患者

解説

HDF患者53,776人のうち、男性は34,316人（63.8%）、女性は19,460人（36.2%）であった。年齢平均は、男性が64.8歳、女性が66.9歳であり、最も割合が高い年齢層は65～69歳であった。これらの傾向はHD患者と同等であり、HDFは広い年齢層に行われていることが明らかになった（図表12）。

HDF患者の原疾患の分布をみると、糖尿病性腎症が34.1%、慢性糸球体腎炎は35.2%で、HD患者と比較すると、糖尿病性腎症の比率が低く、慢性糸球体腎炎の比率が高かった。